

# 栃木県老連だより

第140号

〈平成28年1月10日発行〉

栃木いきいきクラブ  
(一財)栃木県老人クラブ連合会

〒320-8503  
栃木県宇都宮市駒生町3337-1  
とちぎ健康の森 2階

TEL:028-621-4787  
FAX:028-621-4767

単位老人クラブ数	1,755団体
会員数	73,314人
発行部数	8,100部
発行	年4回 (4・7・10・1月)

目次

- 県老連スポーツ大会が開催…………… 1
- 新年のあいさつ 会長…………… 2
- 新年のあいさつ 知事…………… 3
- 全国老人クラブ大会が開催…………… 4
- スポーツ大会の結果…………… 6
- 県老連大学校第14期生卒業式…………… 7
- 地域いきいきコーナー…………… 8
- 寄稿 子どもたちと楽しい交流…………… 10
- 関プロリーダー研修会のお知らせ…………… 10
- 全老連女性リーダーセミナー…………… 12
- 「介護の日」フェスティバル…………… 14
- 県老連女性リーダー研修会…………… 15
- 全国大会「大会宣言」…………… 15
- お知らせコーナー…………… 17
- クイズコーナー…………… 17

## 平成27年度 県老連スポーツ大会



**秋晴れの空の下、  
107チームが参加、  
熱戦を展開！**

10月14日(水)、平成27年度県老連スポーツ大会が、県総合運動公園球技広場を会場に、選手・役員総勢800名が参加し、開催されました。

この日は清々しい秋晴れのスポーツ日和となり、ペタンク、グラウンド・ゴルフ、輪投げの3種目に、県内各地から参加した107チームが熱戦を繰り広げました。

ペタンクとグラウンド・ゴルフについては、昨年と同様それぞれ栃木県ペタンク・ボール協会、宇都宮市グラウンド・ゴルフ協会の全面的な協力を得て実施され、輪投げも併せ3種目ともスムーズな運営をすることができました。

各競技とも「日頃の練習の成果をここで見せん」という熱気にあふれ、各試合最後まで気の抜けない真剣勝負となりました。

(関連記事6ページ)





# 支え合い社会における老人クラブの役割

栃木いきいきクラブ (一財) 栃木県老人クラブ連合会

会長 黒 圖 盛 男

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃から、県老連の諸事業の推進につきまして、多大なご支援・ご協力を賜り深く感謝いたしております。

昨年9月9日～10日にかけての関東・東北豪雨では、県内外で多くの方々が被災されました。会員の皆様の中にも被害に遭われた方がおられるのではないかと思います。心からお見舞いを申し上げます。また、この豪雨の影響で、9月10日に開催予定だった「第29回栃木県老人クラブ大会」も急遽中止にせざるを得ませんでした。自然災害の怖さを身にしみて感じた一年でもありました。

さて、老人クラブの活動は、「健康」、「友愛」、「奉仕」の全国共通の三大運動を中心に展開されておりますが、関係する皆さんのご努力にも関わらず、全国的

に会員数は年々減少が続いております。この課題に対応するべく、全国老人クラブ連合会では、昨年度から老人クラブ『100万人会員増強運動』に取り組んでおり、県老連におきましても、これに呼応し、各市町老連、単位クラブの皆さんとともに、本県独自の『1万人会員増強運動』を実施しているところでございます。

これまで、皆さんには大いに会員獲得のための努力をしていただきましたが、個々の単位クラブでは成果は見られるものの、なかなか全体としての会員増にはつながっていないというのが現状でございます。

運動2年目も終盤になりましたが、今後とも皆様方の取り組みをさらに発展させ、地元自治会の協力を得るなど、創意工夫のある積極的な運動を展開していただき、成果に結びつけていただければと思います。

また、超高齢社会を背景とした介護保険制度の見直しにより、各

市町には、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目前に、住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らせるよう、「地域包括ケアシステム」の構築が求められております。この仕組みの中では、地域住民が互いに支え合うことが必要で、これまで地域に根差した活動を組織的に展開してきた老人クラブには、在宅高齢者の生活支援等の面で大きな期待が寄せられております。

県老連といたしましても、この社会の要請を老人クラブ活性化の好機と捉え、地域において老人クラブの存在感を発信し、市町老連、単位クラブの皆さんと共に会員増に結びつけて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

結びに、会員の皆様及び関係者の皆様にとって、この一年が幸多い年でありますことをご祈念し、新年のご挨拶いたします。

謹んで

新春の御祝詞を

申し上げます

(一財) 栃木県老人クラブ連合会

会長 黒 圖 盛 男 (日光市)

副会長 大 又 吉 (宇都宮市)

理事 杉 山 栄 (栃木市)

深 谷 早 苗 (真岡市)

小 泉 哲 也 (那珂川町)

鈴 木 康 子 (鹿沼市)

東 原 勸 (宇都宮市)

笠 原 晃 夫 (足利市)

野 城 平 四 郎 (佐野市)

小 島 正 男 (鹿沼市)

古 川 榮 光 (小山市)

磯 下 三 郎 (大田原市)

木 下 和 巳 (矢板市)

相 馬 一 郎 (那須塩原市)

大 井 彦 正 (さくら市)

荒 井 文 正 (那須烏山市)

橋 本 正 男 (下野市)

島 田 義 雄 (芳賀町)

宇 津 木 正 義 (上三川町)

田 嶋 進 (学識者)

白 根 彰 (県老連)

大 川 洋 右 (栃木市)

関 澤 常 昇 (市貝町)

川 島 常 清 (宇都宮市)

井 口 四 郎 (足利市)

柏 瀬 昌 夫 (栃木市)

大 阿 久 三 (佐野市)

安 岡 耕 三 (鹿沼市)

増 淵 太 直 (日光市)

伊 藤 樹 男 (小山市)

新 井 幸 男 (小山市)



# 新年のごあいさつ

栃木県知事 福田 富一

老人クラブの皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は、数十年に一度という記録的な豪雨となった平成27年9月関東・東北豪雨により、尊い人命が失われたほか、住宅をはじめ、河川・道路等の公共施設、農作物等に多大な被害が発生しました。引き続き一日も早い被災地の復旧に全力で取り組むとともに、今回の災害の教訓を今後の防災・減災対策に生かし、災害に強いとちぎづくりを進めて参ります。

さて、現在、我が国は急速な少子高齢化の進行と人口減少という、かつて経験したことのない大きな課題に直面しており、国と地方が一体となって、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり地域の活力を維持していくため、中長期的な視点に立ちながら実効性のある取組を進めていくことが急務となっております。

このため、県では、まち・ひと・しごと創生に向け、昨年10月に「とちぎ創生15（いちご）戦略」を策定いたしました。

「時代に合った地域をつくり、とちぎの安心な暮らしを守る」など4つの基本目標を設定し、目標達成に向けた15の戦略により、とちぎの未来創生に果敢にチャレンジして参ります。

また、栃木県重点戦略「新とちぎ元気プラン」に続く、平成28年度から5年間の県政の基本指針となる「とちぎ元気発信プラン（仮称）」の策定を進めております。

プランに掲げる本県の目指す将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な とちぎ」の実現に向け、「次代を拓く人づくり戦略」、「暮らし安心健康戦略」など5つの重点戦略により、女性の活躍推進や産業の振興に加え、高齢者の社会参加促進など、とちぎを元気にする取組を積極的に推進

していくこととしております。

老人クラブの皆様には、今日まで培ってこられた豊かな知識と経験を十分に発揮していただき、活力ある地域社会づくりの担い手として、これまで以上に御活躍いただくことを、大いに期待しております。

本年は、新たなプラン等をスタートさせる重要な年でありま。私は、県民の皆様とともに、誰もが未来に希望を抱き、ふるさとに誇りを持つるとちぎづくりに全力を傾注する決意でありますので、より一層の御理解と御支援をお願いいたします。

年の始めに当たり、私の所信を申し上げますとともに、本年が老人クラブの皆様にとって素晴らしい年となりますよう、また、栃木県老人クラブ連合会ますますの御発展をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

## 評議員

浅井 光二（真岡市）

池田 博（大田原市）

関谷 眞夫（那須塩原市）

田崎 博（さくら市）

高田 博（那須烏山市）

曾我 久（下野市）

大塚 祐栄（益子町）

毛塚 重徳（壬生町）

仙波 清之（高根沢町）

小倉 節子（栃木市）

星 阿サイ（上三川町）

鈴木 康子（鹿沼市）

小倉 節子（栃木市）

安納 房江（宇都宮市）

井澤 知子（宇都宮市）

大塚 セツ子（足利市）

山田 夕力（佐野市）

小山 喜代子（日光市）

灰野 智子（小山市）

石井 千寿代（真岡市）

大谷 小夜子（大田原市）

永井 節子（矢板市）

磯嶋 美知（那須塩原市）

森嶋 トミ（さくら市）

柏崎 芳子（那須烏山市）

中野 とし江（下野市）

若色 千代子（益子町）

細内 秀子（茂木町）

山内 朋子（壬生町）

兼子 公子（野木町）

大久保 テルイ（塩谷町）

大和田 ミエ子（高根沢町）

川上 孝子（那須町）

## 女性委員会

委員長 鈴木 康子（鹿沼市）

副委員長 小倉 節子（栃木市）

委員 安納 房江（宇都宮市）

井澤 知子（宇都宮市）

大塚 セツ子（足利市）

山田 夕力（佐野市）

小山 喜代子（日光市）

灰野 智子（小山市）

石井 千寿代（真岡市）

大谷 小夜子（大田原市）

永井 節子（矢板市）

磯嶋 美知（那須塩原市）

森嶋 トミ（さくら市）

柏崎 芳子（那須烏山市）

中野 とし江（下野市）

若色 千代子（益子町）

細内 秀子（茂木町）

山内 朋子（壬生町）

兼子 公子（野木町）

大久保 テルイ（塩谷町）

大和田 ミエ子（高根沢町）

川上 孝子（那須町）



# 第44回 全国老人クラブ大会 (静岡大会) 開催される

メインテーマ：「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

第44回全国老人クラブ大会が、10月28日(水)～29日(木)、静岡県静岡市の「静岡県コンベンションセンター」で開催されました。

大会初日は活動交流部会が行われ、第1部会▼支え合う地域づくり、第2部会▼同世代の連帯・仲間づくり、第3部会▼演じる活動、の3つの部会に分かれて、パネルディスカッションと舞台発表が行われました。パネルディスカッションでは、全国各地域で活発な活動を展開している老人クラブからの発表を踏まえて熱心な質疑応答がなされ、舞台発表では、大正琴の演奏やリフォームファッションショーなど、日頃の活動の成果が披露され、会場から大きな拍手を受けておりました。

2日目は、まず、本県と縁の深い久能山東照宮宮司落合偉洲氏による「徳川家康公と久能山東照宮」と題した講演が行われました。その後式典に移り、主催者あいさつに続き全老連会長表彰が行われ、本県からは、育

成功労者2名と優良団体として1老連1クラブが受賞されました。

大会の最後に採択された大会宣言は、別掲(P15)のとおりです。

来年の第45回全国大会は、平成28年11月9日(水)～10日(木)の日程により、富山県での開催が予定されています。

○表彰を受けられた皆さん

### ◆老人クラブ育成成功労表彰

長谷川 健氏  
(前栃木県老連副会長、前矢板市シニアクラブ連合会会長)  
高山 輝雄氏  
(前栃木県老連理事、前鹿沼市老連会長)



▲優良老人クラブを代表して表彰を受ける、沢長寿会会長の石川スイさん

### ◆優良老人クラブ表彰

沢長寿会  
(会長・石川 スイ氏、矢板市老連)

### ◆優良老人クラブ連合会表彰

塩谷町老人クラブ連合会  
(会長・軽部 操氏)



▲受賞者並びに受賞団体代表の皆さん



▲本県から全国大会に参加された皆さん



# 県老連 スポーツ大会の結果

## 団体戦優勝チーム



- ペタンク 中久保長寿会B (宇都宮市)
- グラウンド・ゴルフ 田野町長寿会 (宇都宮市)
- 輪投げ 西田長寿会 (宇都宮市)

## 第21回 ペタンク大会

- 優勝 中久保長寿会 B (宇都宮市)
- 準優勝 石井団地睦会 (宇都宮市)
- 第3位 峰南クラブ B (宇都宮市)      第3位 フィオーレ和会 (さくら市)

## 第21回 グラウンド・ゴルフ大会

- |    |                                   |
|----|-----------------------------------|
| 団体 | 優勝 田野町長寿会 (宇都宮市) 打数355            |
|    | 準優勝 高松長寿会 (小山市) 打数357             |
|    | 第3位 下2長命会 (足利市) 打数359             |
| 個人 | 優勝 黒川一二三 (高松長寿会・小山市) 打数42         |
|    | 準優勝 寺内トミ (富2永寿会・栃木市) 打数52         |
|    | 第3位 千代田トミ (いきいきクラブ・大田原市) 打数52 ①の数 |

## 第31回 輪投げ大会

- |    |                                  |
|----|----------------------------------|
| 団体 | 優勝 西田長寿会 (宇都宮市) 1,155得点          |
|    | 準優勝 台新田ことぶきクラブ明寿会 (宇都宮市) 1,069得点 |
|    | 第3位 北犬飼津田長寿会中深津 (鹿沼市) 1,067得点    |
| 個人 | 優勝 伊藤信夫 (西田長寿会・宇都宮市) 290得点       |
|    | 準優勝 河又忠士 (今宮1丁目親交クラブ・宇都宮市) 281得点 |
|    | 第3位 岡本保夫 (西三島長寿会・那須塩原市) 278得点    |

# 栃木県老連大学校 第14期生27名が卒業



答辞を述べる田辺節子さん

平成二十七年度「栃木県老連大学校」は、七月二十二日の入学式から毎月一日から四日のペースで、延べ十五日間、五十八時間の講座を終え、十二月十六日無事卒業式を迎えることができました。

「老人クラブの歴史と現状、今後の展開」でスタートしたこの大学校も、「県老連の現状と

皆さんへの期待」「老人クラブ会計の基礎について」など、老人クラブ運営に必要な基礎的な講座から、「見て触れて覚えようパソコン」や「手作りの物を作ろう（折り紙）」で思いがけず自身の能力を発見したり、「県南方面の史跡と文化を訪ねる」「野外学習で、安藤勇寿「少年の日」美術館での色鉛筆の絵にどこか懐かしさに魅せられ、安藤先生が登場されたのには、参加者全員感動で、記念写真に収まりました。

仲間同士大いに交流を深めたりと、多彩な講座内容に毎日が充実した中身の濃い六か月でありました。

「この老連大学校で学んだことをそれぞれの地域に持ち帰り、老人クラブの仲間とともに活動を通して心豊かな地域づくりに活かすことがこれからの役割である」という、卒業生代表田辺節子さんの答辞の言葉にあるように、皆さんのこれからの活躍が大いに期待されると思います。

## 講義風景



いきいきヘルシーライフ



共に考える介護生活～知っておきたい在宅介護～



やさしい言葉とマナーで



ハイキングの計画の立て方と実践

**大雨災害を乗り越え  
会員増強を目指す**

鹿沼市南押原地区老人クラブ連絡協議会  
会長 高橋 充



豪雨による黒川の堤防決壊の被害は、過去に経験のない、甚大なものでした。特に田畑や農業施設の被害は大きく、被害に遭われた方々には、心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧を祈っています。南押原地区コミュニティ・フィールドのグラウンド・ゴルフ場も冠水し、土砂や流木が流れ込みました。幸い建物や道具類は流されず無事でした。そ

の後、会員全員の努力により、整地作業や片付けに当たり、10月半ば頃には元のように練習ができるようになりました。

今年、鹿老連は創立50周年の記念行事として「総力を結集して『会員を増やそう800人』会員増強を達成するために」と題し研修会が開催され、熱のこもった討議が行われました。討議のポイント

- ① 老人クラブの魅力は何だと思えますか
- ② 地域社会は老人クラブに何を求め、何を期待していると思えますか
- ③ あなたなら会員を増やすためにどうしますか

今、高齢者割合が国民の4人に1人となりました。しかし、会員は減るばかりです。2025年には団塊の世代のすべての人が75歳以上になります。

この年を見据え、地域包括ケアシステムの構築が求められています。いよいよ高齢者の出番です。必要です老人クラブ！

私たち高齢者は、あらゆる手段をもって、休会クラブの元会員や独自で老人活動を行っているグループなど、今は老人クラブの会員でなくても将来の会員とみなして、60歳代の高齢者を連合会組織や単位クラブに取り込む手立てを講じて、基盤づくりをしなければならぬと思います。

そのため、私たちは「会員を増やそう800人」に向かって頑張ります。



**『地域で輝くシニア』  
を目指して**

いちがい  
シニアアクティブクラブ

「老人クラブ」にご加入ください。

「アクティブクラブ」にご加入ください。

どちらがいいかは人それぞれかもしれませんが、芳賀郡で最初の連合会名称の変更です。

市貝（いちがい）町は、『地域で輝くシニア』を合言葉に会員加入促進運動に取り組んでいます。

連合会の名称を変更するにあたり、馴染みがあった呼び名を變えることに多くの方が迷いました。

これからの組織は「若返り」が課題です。若手に加入してもらうには、「活動的なシニア組織」であることを広報していくかなければなりません。

この名称には、会長及び事務局の想いと熱意が込められています。

市貝町を会員加入一番の町にするために、単位



クラブも「一人2声かけ運動」を実施しています。

昨年から地域の小中学校で始めた地域労力奉仕には、今年にはクラブ会員有志135名が参加して、町内すべての学校で実施しました。

今後も、地域の方々と共に歩む、『地域で輝くシニア』を会員全員で目指します。



『親子で楽しんだ  
イベント』

下野市老人クラブ連合会  
南河内地区代表 曾我 祐久

11月28日(土)に開催された「第9回しもつけふくしフェスタ・2015」の中で「わんぱくキッズコーナー」を今年最後の活動として南河内地区が担当して設営、運営をいたしました。

当地区には12の単位クラブがあり、各クラブから数名の会員が参加し協力して、①ストロートンボ②けん玉③輪投げ④木こま⑤ペー

ゴマ⑥ブーメラン⑦折り紙のコマ⑧おてだま⑨あやとり⑩紙ヒコーキなどの遊具を用意し、テント二張りを拠点に社会福祉協議会前の駐車場広場で行いました。当日は風もなく穏やかな好天に恵まれ人も出も順調で、家族で体験して500個用意されたお土産のお菓子袋も残りわずかになり400人ほどの人たちに来て楽しんでいただきました。

ペーゴマは紐を巻くのが難しく、回せる子供はほとんどいませんでしたが、木のコマは回せるようになると嬉しそうに長時間遊んでいきましたし、けん玉も初めは大皿に乗せるのもできなかった子が挑戦を続け、上達し喜んでる姿を見ると指導する私たちも喜びを感じます。折り紙で作るコマは3枚の折り紙を使って作るのですが、時間がかかるし難しくて作れない子供たちは、作成済みのコマを回してきれいだねと言って持ち帰っていました。

保護者の方たちも子供と一緒に遊んで昔を思い出し、懐かしがって共に遊んでいる姿をほほえましく感じました。

このように遊びを通して地域の方たちと、また会員同士触れ合うことができる機会は本当に有意義ですし、うれしいことだなと実感した一日でした。



『いきいき元気  
大久保親睦会』

塩谷町大久保親睦会  
会長 兼子 テルイ

私たち大久保親睦会は、男性会員5人、女性11人の合計16人です。平均年齢は80歳です。現在、全国的に老人クラブ

の会員が減少しつつあります。大久保親睦会でもなるべく会員が減少しないように何度か声かけをしています。なかなか入会する人がありません。「老人会、まだ早いからね」と。そこで、私たちはいろいろと考えました。ある会員の一言がヒントになりました。それは、「私らは暇なんだから遊ぶこと、遊ぶ場所を作って」とのことでした。それから様々な活動が始まりました。地元の神社そうじ、役場に相談して廃校になった小学校のグラウンドの草取り、草刈り、そして木の剪定を一か月に一回行うことになりました。そして役場から補助金をもらい、活動資金に充てます。また、時には会



員みんなで温泉旅行に行きます。そうすることにより、夏の大変な草取りや草刈りもがんばることが出来ます。そして、きれいになったグラウンドで、グラウンド・ゴルフの練習をして一石二鳥です。また、地元の公民館で健康教室も行っています。役場の福祉課の健康の話、歯の磨き方、お巡りさんのオレオレ詐欺の話。そばを打ってそばを食べながらおしゃべりをして、いきいきと楽しく地域活性化、健康寿命をのばすようにがんばっております。



寄稿

子どもたちと楽しい交流

— 老人・幼児ふれあいスポーツ大会 —  
那須塩原市老人クラブ連合会塩原地区連合会



6月18日、塩原地区の年長組園児37名、連合会会員213名が参加し、第42回老人・幼児ふれあいスポーツ大会が開催されました。この大会は昭和49年11月3日に総勢300名が参加して始まった伝統ある行事です。スポーツを通じて幼児とのふれあいを大切にするとともに「元気アップ」「健康増進」みんなに会えてうれしい”など、地域の交流を深める場にもなり「転ばない、無理せず頑張る楽しい大会」をモットーに継続されてきました。昭和61年の塩原町合併30周年（塩原町・箒根村）の節目の年には幼児101名、連合会会員402名総勢503名の参加がありました。近年は少子化と会員加入者の減少により半分以下にまで少なくなってしまう、今後の在り方などについて協議していく段階にきていると思います。また、会員増強については、解散クラブの復活や後継者の勧誘に力を入れ、平均年齢（現在79歳）の若返りも



目指しています。今後も「地域を豊かにするのは自分たちである」ことをPRし、会員はもとより、地域の方々に老人クラブの大切さ、重要性を十分理解していただけるよう努力していきます。

県老連事務局からのお知らせ

「平成28年度関東甲信越静岡ブロック老人クラブリーダー研修会」の開催について

平成28年度の関ブロ老人クラブリーダー研修会は、本県が当番県になります。前回当番したのが平成12年度でしたので16年ぶりの本県開催となります。関東ブロックの各地区から、本県を含め約300名が参加する大きな研修会です。

参加する都・県・政令指定都市の皆さんを、栃木県老連をあげてお迎えしたいと思います。研修会を円滑に実施するには、受付・案内・接待等、各市町老連の皆さんの協力が不可欠ですので、よろしくお願いいたします。開催日程等は次のとおりです。詳細が決まり次第お知らせします。

**開催日時** 平成28年 6月30日(木) 13:30  
～ 7月1日(金) 11:30

**会場** きぬ川 ホテル三日月  
(日光市鬼怒川温泉大原)

★平成27年度埼玉県での研修会の様子



◀受付



◀ステージ

# 「第27回全老連女性リーダーセミナー」に学ぶ

栃木県老連 女性委員会 副委員長 小倉節子



日本各地より120名余の女性会員が、東京都全社協の会議室に参集し、学び、交流を深めました。開催の主旨は、全国運動「100万人会員増強運動」と「高齢消費者被害防止キャンペーン」ともう一つ「新地域支援事業」に向けての三つの柱でした。

①「会員増強運動」は目標に対し26年度は現状を下回る結果となったこと。但し減少率がわずかでも改善されていること、会員減少はクラブ解散が大きな要因、解散させない工夫と諦めないお誘い、誘い続けること、老人クラブの名称や愛称による差異はないこと、単位クラブで、まずあと一人の加入増を心掛ける。

②「高齢消費者被害防止キャンペーン」では26年度特殊詐欺の被害総額約565億円、過去最悪を更新。被害件数は前年から13・8%増加、被害者の6割が60歳以上の女性と聞いて驚きです(女性陣、お金は絶対他人に渡さない。)、クラブ員の見守り、気付き、訪問で被害防止、力量アップしましょう!

③「新地域支援事業」への取り組みに向けて

本年4月に介護保険制度が見直され、市町村は要支援者に対し27年度より3年間で独自の新地域支援事業に取り組み、対応していくこととなりました。住み慣れた地域で暮らし続けるた

めの地域団体や住民参加の支え合いの体制づくりです。老人クラブも、その中で活動が求められ在宅を支える支援事業に連なっていくことです。これらの活動の推進には会員の6割を占める女性会員の力、女性パワーが期待されてきます。福井県鯖江市の老連副会長の藤本氏の「ご近所福祉ネットワーク活動への参加」はこの事業への取り組みでした。あなたの町内でも始めよう!ご近所の「福祉」、要支援者の早期発見、自殺、孤独死、ストレス、悲惨な事件を防ぐ町内の小地域支援です。この問題は私も身にしてみても感じ、町内の要支援者も増えてきており、女性会の中で月2回いきいき体操、脳トレ、折紙、算数あそび、楽しい読み書き、季節行事を取り入れおしゃべりして、お茶して帰る行事を始めました。これをどの方向に位置づけるか思案中だったので、この事例発表は私の栄養素となりました。

もう一つの事例発表は、女性パワー全開で増員難関を突破した、神戸市兵庫区の老連副会長頼廣氏の「女性会長の会で女性の参画を推進しよう」の題目で会員増につなげる施策をお話しされました。全ての道は増員へ通じると言いたいほど誘い、誘い続ける一年二年ではなく、三年お誘い続けるエネルギーには参加者の刺激剤となったことまちがいないし!です。

老人クラブに学び合いみんなで健康寿命を延ばそうよ。

# 第27回全老連女性リーダーセミナーに参加して

宇都宮市富屋地区老人クラブ連絡協議会 会長 井澤知子



第二十七回の全老連女性リーダーセミナーに参加させて頂いた。(11/19、11/20) テーマは「示そう!女性パワー」

昨年より全国運動として「百万人会員増強運動」と「高齢消費者被害防止キャンペーン」に取り組み、一年経ってみてその検証が詳しく発表になった(常務理事・齊藤秀樹氏)。

全国どの地域でも減少してしまっただけで唯一、増加を成し遂げたのが神戸市だった。

年間千人の増加を目標にしたが、二七八人の増だったとのことで、神戸市兵庫区の頼廣安子さんが事例発表をされた。

ご当地に、老人会を結成したのが昭和三十四年、クラブ数は五十八。その中で女性会長は二十一人もいるという。

その二十一人の女性会長で「女性会長の会」を立ちあげ、料理教室や研修旅行、また、月一回俳句の会を開き、プロの講師を招いているとのこと。

未加入者たちに「俳句の会に来ませんか」と呼びかけているという。

まさに、示そう!女性パワーのテーマを地でいく神戸市の発表だった。

栃木県は、五年後の最終目標は、一万八千人余である。小さな単位クラブで一人の増加を達成していけば、手が届くそうである。

二日目の研修の柱は、分散会と称してグループ四人での活発な話し合いだった。私のところには、大阪府・奈良県・愛

媛県そして栃木県のリーダーが顔を揃えた。

どんな活動をして会員増強に取り組んできたかを出し合った。商店街とタイアップして老人会員証を持って行けば、5%の割引が受けられるという大阪府の方。私は、自分の所属している所でやっている郷土料理の食事会のことを話した。

「しもつかれって、具材は何と何が入るんですか」などと、しもつかれで大きい盛り上がり、最終的にグループで一つだけに絞ってくださいとの指示で選ばれたのは、栃木県のしもつかれに端を発した郷土料理だった。

二日間の研修を通して、心に残ったことがいくつかあった。

この日参加したのは、一二五名。平均年齢は多分七十代だと思われる。高齢の女性たちのパワーは本当にすごいと思っ

た。目標をもって、前へ前へと歩みを進めている。特別のことはやっていない。当たり前のことを当たり前にやっているだけ、と集まった先輩たちは語る。

「どうお、変わりなあい?」と、週一回見回しているとか、週三回ラジオ体操を続けているとかの地域も複数あった。

老人クラブに入って何の得がある?その答えは、老人クラブの仲間であれば、いっぱい心配してくれる人がいる。それは財産である...と。

このように思っている人を私はたくさん知っている。だから会員増強にこれからも頑張りたいと決意している。

# 第7回 『介護の日』フェスティバルinけんちょうに県老連も参加

11月7日(土)に栃木県庁で開催された「介護の日」に係るイベントに県老連も参加しました。



介護の日は、厚生労働省により「介護についての理解と認識を深めるため、重点的に啓発を行う日」として11月11日が定められたところであり、7日のイベントはこの日に合わせて行われたものです。

単に「介護イコール高齢者」ということだけではなく、高齢化が一層進む地域社会においては、特に在宅高齢者に対する様々な生活支援・介護予防の活動について、老人クラブへの期待が大きいことから、県老連も共催団体として開催要綱に名を連ね、当日もテント内に啓発ブースを出したところです。

また、県民広場に設けられた特設ステージでは、宇都宮市老人クラブ連合会の協力を得て、中央フラダンスクラブの皆さんにフラダンスを披露していただきました。会場に来ていた多くの方が、華やかな衣装を身につけたメンバーの華麗なダンスに見入っていました。元気なシニア世代の姿を県民の皆さんに強く印象づけたと思います。

県老連では、この日のために、老人クラブPR用のパネルをいくつか作成しました。クラブ大会や研修会などでの展示用パネルとしていつでもお貸しできるので、県老連事務局まで申し込んでください。



県老連の展示ブース



フラダンスの披露

作成・展示したパネルの一部



サークル活動



スポーツ大会



作品展



社会奉仕の日

平成27年度

第2回女性リーダー研修会



会場の様子



小倉女性委員会副委員長



井澤女性委員会委員



山崎 浩之氏

11月30日(月)、今年度第2回目の女性リーダー研修会が健康の森大会議室で開催されました。研修会には県内17市町から60名の女性役員・会員や会長、事務局が5名参加し、午前中は県老連女性委員会副委員長の小倉節子氏(栃木市)と県老連女性委員会委員の井澤知子氏(宇都宮市)から、全老連女性リーダー

セミナーの参加報告があり、全老連常務理事の基調説明や全国の女性会員の活動報告の後、県老連常務理事兼事務局長から「老人クラブの現状と女性リーダーについて」の講義を受けました。午後は、一般社団法人栃木県銀行協会山崎浩之専務理事から「金融犯罪の手法と対策」と題する講演がありました。

宣言

全国の老人クラブでは、自らの生きがいづくり、健康づくりと共に、同世代の仲間づくり、他世代にも向けた地域づくりの活動に取り組みんでいます。現在、健康長寿社会の実現をめざすわが国においては、健康寿命の延伸とともに、地域における高齢者相互の支え合いがますます重要になっていきます。

全国の市町村では今年度から3年のあいだに、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために、地域団体や住民の参加による支え合い体制を作ることが必要とされています。

老人クラブでは、閉じこもりを防止、心のつながりを深める友愛活動を実践してきました。これらの活動経験をもとに、老人クラブの組織力を活かした見守りや生活支援の取り組みに期待が寄せられています。

また、多くの高齢者がともに集い、すべての地域に仲間の輪を広げる5か年計画の会員増強運動は、今年2年目の運動を展開しているところです。

日本のシンボルであり、人類が共有すべき世界の宝「富士山」を擁するこころ静岡の地に集う全国の老人クラブ代表は、「のぼそう!健康寿命、担おう!地域づくりを」のメインテーマのもと、次の事項の実践を誓い、ここに宣言します。

- 一、高齢者の日常生活を支える「地域支援活動」への参画
- 一、老人クラブ「100万人会員増強運動」の展開
- 一、健康長寿をめざす「健康づくり・介護予防活動」の充実
- 一、消費者被害防止に向けた活動の実践
- 一、高齢者の尊厳が守られる社会保障制度の確立

平成二十七年十月二十九日  
第四十四回 全国老人クラブ大会

# お知らせコーナー

## ◆平成27年度の主な行事

- 2/15(月) 市町老連正副会長等研修会 (健康の森)
- 3/11(金) 市町老連事務局長会議 (健康の森)
- 3/17(木) 第3回理事会 (健康の森)

## ◆販売品紹介

### ○輪投げ用具 (送料・税込)

- ・用具一式 ケース付 13,232円 ケースなし 10,932円
- ・輪 (1組9個) 3,932円 ・棒 (1組9本) 3,132円
- ・ケースのみ 3,432円

### ○会員章 1個 1,000円

### ○みんなで歌う愛唱歌集 B6版200ページ 定価700円

## ◆老人クラブ傷害保険のご案内

いつでも、何歳からでも加入できる老人クラブ会員独自の傷害保険です。年額500円から加入できます。もしもの場合に備え、安心して活動を楽しみましょう。

お問い合わせ・お申し込みは、市町老連又は県老連事務局まで。

## ◆老人クラブ賠償責任保険のご案内 (2014年新発売)

会員が活動中に、「誰かにケガをさせた」、「誰かのモノを壊した」などの事故への損害賠償保険です。一人年額100円の掛け金で、支払限度額1億円です。ただし、単位クラブの会員全員の一括加入が必要です。

お問い合わせ・お申し込みは、市町老連又は県老連事務局まで。

## ◆全老連監修「泣いて、笑って、昭和の子育て」のご案内

- ・定価 平成26年4月～ 1,080円 (税込・本体1,000円)
- ・荷造り・送料 1冊 200円、2冊以上 実費

## ○申込み・問い合わせ

公益財団法人 全国老人クラブ連合会  
〒100-8917 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル  
電話：03-3581-5658 FAX：03-3597-9447

## ◆全老連発行教材のご案内

### ○高齢者向け体力測定ハンドブック

1冊 520円 (送料込) / 2冊以上 420円×冊数 (送料別)

### ○高齢者向け体力測定記録用手帳

1冊 240円 (送料込) / 2冊以上 160円×冊数 (送料別)

### ○健康ウォーキングハンドブック

1冊 520円 (送料込) / 2冊以上 420円×冊数 (送料別)

### ○健康ウォーキング手帳

1冊 240円 (送料込) / 2冊以上 160円×冊数 (送料別)

### ○いきいきクラブ体操関連教材

- ・DVD (映像)  
1枚 2,280円 (送料込) / 2枚以上 1,860円×枚数 (送料別)
- ・CD (音楽)  
1枚 1,050円 (送料込) / 2枚以上 830円×枚数 (送料別)

※ご注文は、県老連事務局あてに電話・FAX又はメールでお申し込みください。

電話：028-621-4787 / FAX：028-621-4767  
メール：roujin33@maple.ocn.ne.jp

3/10 掲載  
当日消印有効



**応募先**  
〒320-0808  
宇都宮市駒生町三三三七一  
とんぼ健康の森2階  
栃木県老人クラブ連合会まで

★ハガキに解答①～⑤までの読み方と住所、氏名、所属クラブ名、電話番号を明記のうえ、県老連事務局までご応募ください。  
★正解者の中から抽選で5名の方に粗品を贈呈します。  
(読み方と当選結果は次号掲載)

★次の①～⑤の読み方をお答えください。  
① 牡蠣 ② 河豚  
③ 炬燵 ④ 蠟梅  
⑤ 鴛鴦

冬  
ふゆ  
フユ  
クイ  
ス

寒い季節になりました！  
ということので、「冬」をテーマにクイズにしました。

★高齢社会を語る上で、九年後の二〇二五年は特別な年です。昨年、65歳以上の高齢者の仲間入りをした「団塊の世代」の皆さんが75歳以上の後期高齢者になる年だからです。国では、この年までに、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう「地域包括ケアシステム」の構築を各市町に求めています。この中では、元氣な高齢者が日常生活で支援の必要な在宅高齢者を支える担い手としての役割が求められています。ここに友愛訪問等の実績が豊富な老人クラブの出番があります。地域での存在感のアピールは、会員増の引き金になるかもしれません。まずは動くことが大事だと思えます。待つだけの話ではなく、市や町の行政サイドと積極的に話をして下さい。今年一年よろしくお願いたします。(白根沢)

**編集後記**  
★新しい年を迎えました。今年、県老連は正念場の年を迎えたように感じています。  
言うまでもなく会員減少に歯止めをかける効果的な会員増強運動を皆さんと共にどこまで実行できるか。そして、年々高齢化の進む地域社会において、今後どう老人クラブが存在感を示しているか、その礎を少しでも今年築いていけるかです。

第139号(10月10日発行)の答え  
① 蒟蒻 (こんやく) ② 団栗 (どんぶり)  
③ 石榴 (ざくろ) ④ 無花果 (いちじく)  
⑤ 山茶花 (さざんか)  
多数のご応募をいただき、ありがとうございました。  
応募総数49通、全問正解は47通でした。厳正に抽選をさせていただいた結果、次の5名の方に粗品をお送りいたします。  
☆岸本真樹子さん (足利市 天王町鹿島会)  
☆福田 隆さん (栃木市 本町親交会)  
☆田中十一郎さん (小山市 中島弥生会)  
☆栗田治江さん (さくら市 葛城松風会)  
☆平井信子さん (壬生町 北小林第1老人クラブ)